



第20回 水環境フォーラム in 岡山

感染症と水環境

～ 衛生工学施設としての水道・下水道を改めて考える ～

- 日時：令和2年7月25日（土）13時30分～15時00分
- 場所：オンライン
- 主催：（公社）日本水環境学会 中国・四国支部
- 共催：（公社）日本水環境学会
- 概要：我々がいつも何気なく使っている水道・下水道は、感染症の防止と密接なつながりを有しています。世界中が改めて感染症の脅威を実感しているいま、我々は感染症とどのように付き合えばよいのか、現代社会において水道・下水道は感染症に対して何ができ、今後どうあるべきなのか考えてみたいと思います。

■ プログラム ■

13:30～13:35 開会の挨拶・趣旨説明

13:35～14:05 北島 正章

（北海道大学 大学院工学研究院・助教，日本水環境学会 COVID-19 タスクフォース）

「新型コロナウイルスの下水疫学：最新知見と研究展望」

14:05～14:35 浦瀬 太郎（東京工科大学 応用生物学部・教授）

「衛生工学施設としての水道・下水道，そしてこれから

～ 水系感染症と水道・下水道成立の歴史，今後の展望」

14:35～15:00 質疑応答

- 参加費：無料
- 募集定員：100名（先着順）
- 参加申し込みが必要です【〆切：7/19（日）17:00】

申し込みは [こちら](https://forms.gle/LanwqBUgs2mZwQeM8)（↓）から

<https://forms.gle/LanwqBUgs2mZwQeM8>



- 後日，会議参加方法の詳細を，ご登録いただいたメール宛にお送りいたします。
※ 7/22（水）15:00 までに連絡が届かない場合は，下記連絡先までお問い合わせください。

【お問い合わせ】岡山大学 大学院環境生命科学研究科・永禮 英明 (jswe2020@s.okayama-u.ac.jp)